

地域づくり活動 NPO 事業助成事業 実績報告

事業区分 (3-7)

団体名	認定NPO法人 コミュニティ・サポートセンター神戸	代表者名	(職名) 理事長	(氏名) 中村 順子
事業名	コロナ禍における地域の居場所の活動実態調査-持続可能なつながりの探求			

< 事業実施実績 >

年月日 定例は「月1回」 「毎〇曜日」等 で記入	場所	参加者 一般(スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
2023年 6月20日	CS神戸	研究メンバー6名	第1回研究会 今年度の調査の方向性の検討
7月13日	CS神戸	研究メンバー6名	第2回研究会 アンケート調査内容の検討
7月23日	CS神戸	研究メンバー6名	第3回研究会 アンケート調査内容の検討
8月21日	CS神戸	研究メンバー6名	第4回研究会 居場所サミット内容の共有
9月6日	CS神戸	研究メンバー6名	第5回研究会 ヒアリング調査の内容の検討
9月27日	オンライン	研究メンバー6名	第6回研究会 アンケート調査の共有
11月1日	CS神戸	研究メンバー6名	第7回研究会 報告書内容の検討
11月30日	オンライン	研究メンバー6名	第8回研究会 ヒアリング調査の共有
12月18日	CS神戸	研究メンバー6名	第9回研究会 報告書内容の検討
1月10日	CS神戸	研究メンバー6名	第10回研究会 報告会の検討
2月2日	オンライン	研究メンバー6名	第11回研究会 報告会の準備
2月9日	兵庫県民 会館	41名 + 研究メンバー・事 務局10名	報告会 参加者41名(会場16名・オンライン25名)
2月22日	CS神戸	研究メンバー6名	第12回研究会 報告会のふりかえりと次年度に向けた検討

< 効果と成果 >

実績は以下のとおり

アンケートおよびヒアリング調査（アンケート調査 13 団体 / ヒアリング調査 8 団体）

調査報告書の作成（全 5 章・64 ページからなる調査報告書を発行 / HP で公開）

調査報告会の実施（2024 年 2 月 9 日に実施、参加者 41 名 / 兵庫県民会館）

常設居場所の共同広報および調査報告会の PR（2023 年 11 月 26 日産経新聞全面広告・2 万 5 千部）

それら調査研究により、リーダーシップのあり方として「心のチャレンジ（静謐な情熱）」、「頭のチャレンジ（小さな工夫 / 戦略的思考）」、「手のチャレンジ（行動力 / 情報発信力）」や、環境要因としての日常的なつながりの重要性、柔軟な組織構造、場の設えとしての「縁側」の意義など、レジリエンスを発揮するための各要素が明らかとなった。

採択意見に対する対応

調査報告書の中に「居場所におけるレジリエンス・チェックシート」を掲載し、自団体で自己チェックできるようなツールを作成し、現場で活用いただくよう広報した。また報告会においてもディスカッションの時間を取り、それぞれのノウハウの共有やネットワークの構築につながるよう配慮した。

< 今後の展望 >

今年度は特に民設民営の常設居場所におけるコロナ禍のレジリエンスに着目して調査研究を行った。いずれの居場所も、コロナ期間中にも関わらず社会的に大変意義ある活動を行っていたが、神戸市では施策化されていないため、人的・物的の両面で課題を抱えている居場所が多く見られた。

そこで次年度以降は、常設居場所立ち上げまでのいくつかのパターンや費用面を明らかにするとともに、企業との連携（福利厚生としての居場所の役割の可能性）について模索する。そして、それらのプロセスを通じて、常設居場所の意義や役割について広く市民・行政・企業等に周知していきたい。

< 収支決算書 >

（収入）

項 目	金 額（円）
地域づくり活動 NPO 事業助成金	500,000
報告会参加費	41,000
自己資金	10,394
合計	551,394

(支出)

区分	項目	金額(円)	左のうち 助成対象金額(円)
直接 経費	事務局人件費	130,000	78,646
	事務局サポート謝礼	127,000	127,000
	調査協力謝礼	106,000	106,000
	その他(広告宣伝費等)	153,394	153,354
	小計	516,394	465,000
間接経費(一般管理費)		35,000	35,000
合計		551,394	500,000